

ジェンダー 川柳・フォトコンテスト



●問い合わせ 役場人権推進課 男女共同参画推進係 ☎096(293)0863

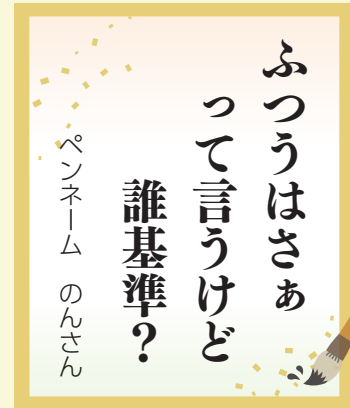
年齢や性別にかかわらず、その個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指し、男女共同参画を身近に感じられるような写真や川柳を募集しました。今回は4つのテーマを設けましたが、特に「誰かの言葉や態度にもやもやしたこと」への応募が32点寄せられました。町男女共同参画審議会の選考と、福祉まつり一般投票154票の中から選ばれた受賞作品を紹介します。

第8回のテーマはこちら

- 1 誰かの言葉や態度にもやもやしたこと
- 2 誰かの言葉や行動などに「ありがとう」と感じたこと
- 3 自分の中の思い込みに「ハッ」としたこと
- 4 「女らしさ、男らしさ」関係ない！「わたし」が好きなもの

最優秀賞

川柳部門



作品テーマ番号

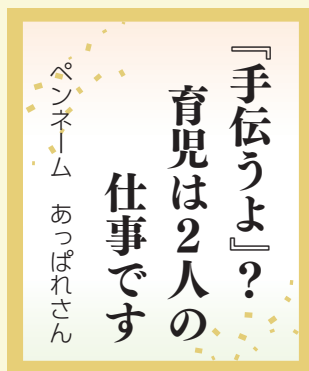
1

評(町男女共同参画審議会 小山会長)

「ふつうはさあ・・・」という時、無意識に共通の基準があるかのように伝わってくる。この言葉の曖昧さや、言われる側が感じる違和感を上手く表現した句だと思いました。

優秀賞

川柳部門



作品テーマ番号

1

評 「手伝うよ？」という言葉に、まだ育児の主体が母親という社会的固定観念があることを再認識させられた一句。「二人の仕事」と断言することで、家庭の役割分担には対等な責任があると伝えてくれました。

優秀賞

フォト部門



作品テーマ番号

4

相馬 隆明さん

作者解説

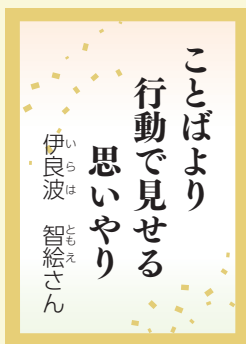
好きな写真を撮っているときは、性別や年齢、職業や立場をすべて忘れ無心になれる。カワセミのように誰もがいろんな色をもち、美しくあればいい。

評 会場では鮮やかな色合いが、審議会では「カワセミのように誰もがいろんな色を持ち、美しくあればいい」という作者の解説が、好評な作品でした。



入選 川柳部門

作品テーマ番号 1

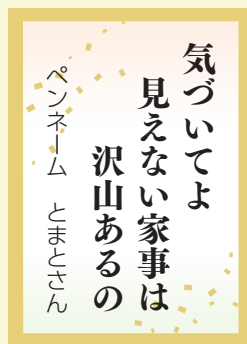


評 言葉は口先だけの優しさになってしまうことがあるけれど、行動は目に見える形の思いやり。説得力と温かみが同居している一句だと感じました。



入選 川柳部門

作品テーマ番号 1



評 「気づいてよ」という呼びかけに、切実さと少しのいらだちが見えます。目に見えないけれど生活を支える大切な家庭での役割分担と、ジェンダーについて考えさせられた一句です。



入選 川柳部門

作品テーマ番号 1



評 自炊は、特別な才能や男女関係なく、誰でも身に着けられる万能の武器。短い言葉で、上手く伝えてくださったと感じました。

作品テーマ番号 4



入選 フォト部門

「芋は渡さん！」



木数 貴子さん

作者コメント

娘がスーパーで見つけたデッカイ芋を離さず、予定にない買い物をする羽目になりました。女らしさ、男らしさ関係なく好きなもの。娘の場合は、間違いなく大津町特産さつまいもです！

評 テーマの「女らしさ、男らしさ」関係ない！「わたし」が好きなもの、に相応しく、カラモが大好きな純粋な気持ちが伝わる表情が一般投票でも票を集めました。